

もっと現場を知る！職員短期派遣研修 報告書

女性相談センター西部分室 山根 菊子

1. 派遣先 特定非営利活動法人 ぼんぼん船
2. 研修期間 平成26年9月16日(火)～20日(土)
3. 研修内容 9月16日～19日 通所者と一緒に作業
 - ・クッキー包装用袋のシール貼り、ビニタイ付け
 - ・パン販売
 - ・いちじく出荷用の箱の組み立て9月20日 ぼんぼん船まつりスタッフ準備・片付け
缶つぶし大会受付・記録



4. 研修を終えて

ぼんぼん船は、知的・身体・精神に障がいのある方々のための共同作業所です。20代から60代まで、現在は23名の登録があり、毎日16名前後の方々が公共交通機関等を利用し通所されています。ぼんぼん船というとクッキーというイメージが強いですが、それ以外にもアルミ缶のリサイクル、農作業、清掃作業、パンの販売等の請負作業も行っています。年齢、障がい、適性によって、それぞれに合った作業を担当されています。



玄関に飾られたクッキー

私が研修させてもらったのは、週末にぼんぼん船まつりを控えた5日間で、特にクッキー製造はまつり用と、通常の注文用とで大忙しのようなようでした。少しずついろいろな作業に参加させてもらいました。午前と午後、休憩を挟んで2時間ずつの作業ですが、皆さんとても一生懸命働いておられ感動しました。



こんなかわいいクッキーを作っています

20日のぼんぼん船まつりは、天気にも恵まれたたくさんの来場者がありました。



缶つぶし大会公認リング



今年の優勝者がつぶした缶

私自身が、障がい者の方と長時間接したことがこれまで無かったので、研修の前には少し不安でしたが、とても楽しく過ごすことができました。

いろいろな障がいの方が、いろいろな作業をするということは、職員の方々の指導や支援がそれだけ必要ということです。障がいの程度や違いによって、通所者ひとりひとり対応の仕方が違います。限られたスタッフで毎日多くの業務をこなされていて大変だと思うのですが、職員の皆さんは明るく通所者と接しておられました。だからこそ、毎日みなさんががんばって通所して来られるのだと思います。

日々の業務の中でいろいろな相談者の方と接していますが、自分自身がこれまでどう接してきたか、もう一度振り返ってみたいと思います。

これからも、ぼんぼん船を応援しています。